

助成金交付申請書・実績報告書記載例

- ちば環境再生基金助成事業 -

【記載例目次】

1	県民の環境活動支援事業助成金交付申請書	1
2	環境活動見本市等普及啓発支援事業助成金交付申請書	4
3	未来の環境活動担い手支援事業助成金交付申請書	11
4	廃食油燃料利用促進プロジェクト事業参加申込書	14
5	廃食油燃料利用促進プロジェクト事業助成金申込書	16
6	県民の環境活動支援事業助成金実績報告書	17
7	未来の環境活動担い手支援事業助成金実績報告書	21
8	廃食油燃料利用促進プロジェクト事業活動実績報告書	25

一般財団法人 千葉県環境財団

業務部 環境活動支援課

(ちば環境再生基金事務局)

【記載例1】

受付番号	
------	--

第1号様式(第9条)

県民の環境活動支援事業助成金交付申請書

令和 年 月 日

一般財団法人千葉県環境財団理事長 様

(団体の所在地) ○○市○○町○—○

(団体名) ○○○○を守る会

(代表者氏名) 代表 ○○ ○○ 印

令和○年度県民の環境活動支援事業助成金を下記のとおり交付されるよう、県民の環境活動支援事業助成金交付要綱第9条の規定により関係書類を添えて申請します。

記

- | | |
|-----------------------------|--------------------|
| 1 助成金申請額 | 200,000 円 |
| 2 事業開始予定年月日 | 令和○年 4月 1日 |
| 3 事業完了予定年月日 | 令和○年 3月 31日 |
| 4 助成事業名 | 「 ○○○の里保全活動 」 |
| 5 活動場所 | 「 ○○市○○地区 里山保全地域 」 |
| 6 添付書類 | |
| (1) 助成事業計画書 | (別紙1) |
| (2) 事業収支予算書 | (別紙2) |
| (3) 団体に関する調書(その1～その3) | (別紙3-1～3-3) |
| (4) 定款又は規約 | |
| (5) 活動場所に係る地図(2万5千分の1程度のもの) | |

助成事業計画書

事業名 (助成対象事業区分)	〇〇〇の里保全活動 (該当する区分：環境保全、生物多様性保全、地球温暖化防止対策、省資源・リサイクル)			
1 事業目的 (現状の環境課題に対して、団体等が何を対象にどうしたいのか、事業の必要性等から簡潔に記述)	(目標の達成度を分かりやすく記載する。) 〇〇市内では、野生種の発見が難しくなった〇〇の貴重な自生区の保護・繁殖域の拡大を目指し、自生区及び周辺の里山を整備し、広く県民に観察の場を提供するとともに、貴重種の保護意識高揚を図る活動とする。			
2 事業内容 (具体的な事業の活動場所、活動内容、実施期間内のスケジュールを記載してください。)	活動場所 〇〇市〇〇地区及び周辺里山			
	活動内容 当該里山では、季節により様々な貴重な野草が芽吹き・花を咲かせるため、これら野草が今後とも自生し続けられる保護活動を行うとともに、この自然環境を県内の愛好家・自然保護団体に広く知ってもらうため、季節の自然観察会を開催し、保護意識の高揚、保護活動への参加を促す。			
	実施スケジュール 4月～3月 通年を通じた保護地区の整備(下草刈、野草名前札の設置) 4月 春の自然観察会開催(専門家に講師依頼) 8月 夏の自然観察会開催(専門家に講師依頼、7月にホタル鑑賞会) 3月 貴重種〇〇の観察会開催 活動成果及び次年度計画取りまとめ			
3 実施体制 (事業の実施に当たっての協力体制をどのように構築するか記載してください。)	(専門家等との協力) 山草の専門家に講師依頼、自然観察指導員			
	(市町村等との連携) 〇〇市環境保全課、〇〇市教育委員会			
	(住民等との連携) 里山地権者、里山周辺地区の住民との調整済			
4 普及啓発活動 (事業の周知方法、啓発等の内容を記載してください。)	(広報活動：どのような広報手段で事業の周知を行うか) 当団体のホームページ、〇〇市広報紙に自然観察会開催案内を掲載する。			
	(啓発活動：どのような啓発手段で事業の啓発を行うか) 季節の自然観察会時に保護活動の概要紹介し、新たな活動参加者を募る。			
5 事業効果把握 (事業実施の効果について、どのような方法で評価するのか記載してください。)	(事業の効果把握：何を指標とするのか) 団体の活動内容(計画回数、参加者)、貴重種の生育状況(種類と量)、自然観察会への外部参加者数			
	(把握方法：どのような方法、手法を用いてその効果を評価するのか) 年による気象状況で活動日数、貴重種の生育状況や観察会参加者が変わるため、過去の状況と比較し成果を評価し、課題・活動内容の改善に努める。			
6 助成実績(◎)及び今後の申請予定(○)	前年度活動	今年度活動	申請年度	翌々年度活動
	◎	◎	○	○

※いずれも欄が不足する場合は、適宜別紙(A4)を添付してください。

事業収支予算書

令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日

区 分		予算額	内 訳
収入の部	助成金	〇〇〇,〇〇〇円	ちば環境再生基金から
	会費収入	〇〇,〇〇〇円	年会費@円×〇人
	その他 (寄付等)	〇,〇〇〇円	
	寄付金		
総 額		〇〇〇,〇〇〇円	
支出の部	助成対象経費	消耗品費	〇〇,〇〇〇円 下草刈用鎌 @×〇〇個=〇,〇〇〇円 灌木伐採用鋸 @×〇〇個=〇,〇〇〇円 野草名前札 @×〇〇〇枚=〇,〇〇〇円 資料用コピー用紙 @×〇冊=〇,〇〇〇円
		燃料費	〇,〇〇〇円 刈払機用混合燃料 @×〇〇缶=〇,〇〇〇円
		印刷製本費	〇,〇〇〇円 観察会用資料用コピー代 @×〇〇部×3回=〇,〇〇〇円
		保険料	〇,〇〇〇円 ボランティア保険料 @×〇人=〇〇,〇〇〇円
		通信運搬費	〇,〇〇〇円 観察会(春、秋)観察会通知用郵送代 @×〇箇所=〇,〇〇〇円 観察会講師連絡用資料等郵送代 @×〇人=〇,〇〇〇円
		旅費	〇〇,〇〇〇円 観察会講習会講師(東京~千葉) @×〇人=〇〇,〇〇〇円
		使用賃借料	〇〇,〇〇〇円 刈払機レンタル代 @円×〇台×〇回=〇〇,〇〇〇円
		謝金	〇〇,〇〇〇円 観察会(春、秋)講師謝礼 @×〇人=〇〇,〇〇〇円 貴重種〇〇観察会専門家謝礼 @×〇人=〇〇,〇〇〇円
		小 計	△△△,△△△円
	助成対象外経費	飲食費	〇〇,〇〇〇円 茶菓子 講習会・研修会講師用 @×〇人=〇,〇〇〇円 お茶 講習会・研修会参加者用等 @×〇個×〇回=〇,〇〇〇円
小 計	〇〇,〇〇〇円		
総 額		〇〇〇,〇〇〇円	

記載内容が多い場合は、「別紙のとおり」とし、内訳を記載し別紙を添付してもよい。

【記載例2】

環境活動見本市等普及啓発支援事業助成金交付申請書

令和 年 月 日

一般財団法人千葉県環境財団理事長 様

(団体の所在地) ○○市○○町○—○
(団体名) ○○○○フェスタ実行委員会
(代表者氏名) 実行委員長 ○○ ○○ 印

令和○年度「環境活動見本市等普及啓発支援事業助成金」を下記のとおり交付を受けたいので、環境活動見本市等普及啓発支援事業助成金交付要綱第9条の規定により関係書類を添えて申請します。

記

- 1 助成金申請額 2,500,000 円
- 2 事業期間 令和○年 4月 ～ 令和○年 3月
- 3 助成事業名 「 ○○回 ○○○○フェスタ開催事業 」
- 4 事業実施区域 「 ○○○市○○地区 ○○○会場 」
- 5 添付書類
(1) 全体事業計画及び当該年度の助成事業計画書 (別紙1～2)
(2) 当該年度の事業収支予算書 (別紙3)
(3) 予算措置が確認できる書類

担当部署	○○○○フェスタ実行委員会事務局	TEL	○○○-○○○-○○○○
担当者名	事務局長 ○○ ○○		

全体事業計画書

【ここでは5年計画の事業であれば、この5年間の全体の計画について記載する】

①申請事業の目的・目標

本事業は、県民や事業者等に対して、千葉県内の行政機関、県民団体、企業・事業者の環境活動や環境改善の取組を紹介し、より多くの県民等が知り、これからの千葉県の環境改善や地球規模の環境問題への取組に興味を持ち、自ら進んで環境活動等に参加する気持ちを抱かせ〇〇〇〇フェスタ参加者の交流・協働を促す内容の環境活動見本市として実施するものである。

事業目標は、見本市の出展団体数の増加と1万人以上の県民等の参加を目標とする。

②事業の概要

〇〇〇〇フェスタ開催事業は、〇〇年度から広く県民・事業者に対して県内で活動するNPO等の環境活動団体の日頃の活動内容や成果を発表する場、また、県及び市町村の環境保全行政の施策・取組の紹介の場、県内や全国規模の企業の環境問題に対する社会貢献の内容等の紹介の場を提供する事業として実施してきた。

千葉県や我が国が直面する環境問題は、千葉県という地域の環境問題に加え、近年では地球規模の環境問題が顕在化し、行政の新たな施策や取組、企業・事業者の環境配慮製品の開発動向など、県民等への情報提供内容も種々様々である。

一方、千葉県においても少子高齢化が進行し、それに伴う環境活動団体員の高齢化による活動にも支障が出始めており、将来の環境活動団体を支える若者・未来の担い手の発掘も急務となっている。

このような環境課題や社会情勢の変化に対応したフェスタとして開催するもので、企画立案・広報等については、行政機関、環境活動団体、企業・事業者等からなる実行委員会を立ち上げ詳細内容の検討を行い実施する。

- ・実施主体 〇〇実行委員会形式（〇〇フェスタ開催事業実行委員会）
- ・開催予定日時 毎年度〇月の休日（祝日）の1日 〇〇時～〇〇時
- ・開催場所 約100団体の展示ブースが確保され、1万人規模の集客が安全に参加できる会場を選定
- ・展示ブース 120以上を確保（各団体等による工夫を凝らした展示設営）
- ・プレゼンステージ 1ステージ（時機に即したメインテーマに即した県民活動団体・企業・事業者等によるプレゼンテーション実施）
- ・予定来場者数 1万人を見込む
- ・協力体制 フェスタを円滑に進行させるため誘導ボランティアを募る

③実施体制（市町村等他団体との連携・合意形成を含めて記載）

実行委員会形式により計画の内容等について合意形成を図り実施する。

開催事業の詳細内容については、実行委員会のもとに企画部会・広報部部会を設け時機に即したテーマ設定やより多くの県民・事業者等の来客が望める実施方法・広報方法等を検討し円滑に運営できる体制を整備する。

（実行委員会構成）

- ・行政機関（県、市）行政関連団体
- ・環境活動団体代表（環境NPO、NGO、任意団体等）
- ・大学等研究機関
- ・企業・事業者（環境関連企業、環境活動事業者等）

④年次計画

事業実施期間 RO年 4月 ～RO年 3月

事業全体予算 12,500 千円

年 度	計画の概要	予 算
RO年度	〇〇回 〇〇〇〇フェスタ開催 －〇〇メインテーマ〇〇－	2,500千円
RO年度	〇〇回 〇〇〇〇フェスタ開催 －〇〇メインテーマ〇〇（案）－	2,500千円
RO年度	〇〇回 〇〇〇〇フェスタ開催 －〇〇メインテーマ〇〇（案）－ 開催事業の中間点検実施	2,500千円
RO年度	〇〇回 〇〇〇〇フェスタ開催 －〇〇メインテーマ〇〇（案）－	2,500千円
RO年度	〇〇回 〇〇〇〇フェスタ開催 －〇〇メインテーマ〇〇（案）－ 開催事業の5年間評価実施	2,500千円

※欄が不足する場合は、適宜別紙（A4）を添付してください。

助成事業計画書

【ここでは、事業実施年度の単年度の計画について具体的な計画内容を記載】

①事業内容

(別紙1の「④年次計画の概要」で記載した当該年度の内容を具体的に記載してください。)

〇〇〇〇フェスタ開催事業も〇〇年を迎え、広く県民・事業者には県内の環境活動団体の活動内容や身近な市町村の環境保全等の取組の紹介に加え、地球規模の環境問題の解決に効果があり、また、県民生活をよりエコなスタイルに変えられる、環境改善につながる製品開発している企業の取組、エコ商品等の紹介などを行う。

〇〇年度のメインテーマは「〇〇〇〇メインテーマ〇〇」とし、テーマに即した事例発表の場として団体のステージショーを企画するとともに、残念ながらフェスタ会場での参加ができない活動団体についても、本フェスタの開催趣旨に賛同する団体については、特設の情報提供のエリア等を設け活動概要を紹介し、間接的に本フェスタに参加できる形態として実施する。

- ・開催予定日時 令和〇年〇月〇日(〇) 〇〇時～〇〇時
- ・開催場所 〇〇〇〇会場(〇〇市〇〇地区)
- ・実施主体 〇〇回 〇〇〇〇フェスタ開催事業実行委員会
実行委員長 〇〇 〇〇〇
- ・参加予定団体数等 〇〇〇団体(行政〇、環境団体〇、企業・事業者〇)
- ・予定来場者数 〇〇〇〇〇〇人
- ・展示ブース 120(設営は各団体等による)
- ・メインテーマの設置 これまでの開催実績、近年の環境問題等の変化からメインテーマを「〇〇・・・・・・・・・・・・・・・・〇〇」とする。
- ・プレゼンテーションステージ
1ステージ〇〇分のプレゼンテーション団体数〇〇団体
(メインテーマに即した県民活動団体・企業・事業者等によるプレゼン実施)
- ・出展者の募集 募集の方法(広報方法)
〇〇・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・〇〇とする。
募集期限等
〇〇・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・〇〇までとする。
活動分野の区分
募集にしては、活動区分を〇〇・・・・・・・・・・・・・・・・
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・〇〇とする。
- ・〇〇〇〇
- ・〇〇〇〇
- ・〇〇〇〇

②事業計画

〈月（四半期）ごとの事業内容を詳細に記載してください〉

区 分	実 施 計 画	
第1 四半期	4月 第1回実行委員会開催 企画部会、広報部会立ち上げ 5月 6月	
第2 四半期	7月 8月 9月 フェスタ開催	主な検討・実施内容を何時、誰（組織） が、何を検討・実施するのかを簡潔に 記載する
第3 四半期	10月 開催結果取りまとめ 11月 12月	
第4 四半期	1月 2月 次期実行委員会立ち上げ準備 3月 事業実績報告書作成	

③実施体制

（どの組織が何をどのように決めるかを記載）

- 実行委員会形式で検討し、参加団体との連携・合意形成により実施内容を決定する。
- 実行委員会構成、部会構成の検討範囲を記載

（実行委員会構成）

- 行政機関（県組織○、市○）行政関連○団体
- 環境活動団体代表（環境NPO、NGO、任意団体等）○団体
- 大学等研究機関○団体
- 企業・事業者（環境関連企業、環境活動事業者等）○社

・情報公開

(特設ホームページの開設、実行委員会、部会等の検討項目、検討結果の概要をホームページに掲載するなど、検討・決定過程を透明化するため、適宜情報公開する旨を記載)

・その他

④事業成果見込み（達成目標を明確に記載してください）

(本事業の実施の評価にあたり、事業実施前に評価項目（目標）及び評価方法を設定し、事業評価を行う旨を記載する)

※欄が不足する場合は、適宜別紙（A4）を添付してください。

事業収支予算書

令和 年 月 ~ 令和 年 月 (単位：千円)

事業費		0,000千円
財 源 内 訳	内助成対象経費 A	△,△△△千円
	Aの内他団体からの財政支援 B	〇〇千円
	助成金算出基礎 C=A-B	0,000千円
	助成金 C×1/2	0,000千円

記載内容が多い場合は、「別紙のとおり」とし、内訳を記載した別紙を添付してもよい。

区 分		予 算 額	内 訳
支 出 の 部	助 成 金 対 象 経 費	消耗品費	〇〇〇,〇〇〇円 資料用コピー用紙 @×〇冊=〇,〇〇〇円
		印刷製本費	〇〇〇,〇〇〇円 ポスター印刷 @×〇〇部=〇〇〇,〇〇〇円 ちらし印刷 @×〇〇〇〇部=〇〇〇,〇〇〇円 アンケート用紙印刷 @×〇〇〇〇部=〇〇,〇〇〇円
		保険料	〇〇,〇〇〇円 ボランティア保険料 @×〇〇人=〇〇,〇〇〇円
		通信運搬費	〇〇,〇〇〇円 関係機関等への資料照会郵送代 @×〇〇箇所=〇,〇〇〇円 ポスター、ちらし等郵送代 @×〇〇箇所=〇〇,〇〇〇円
		旅費	〇〇,〇〇〇円 スタッフ旅費 @×〇〇人=〇〇,〇〇〇円
		使用賃借料	〇,〇〇〇,〇〇〇円 実行委員会開催会議室代 @円×〇〇回=〇〇〇,〇〇〇円 イベント開催場所借り上げ料(音響込) @×一式=〇,〇〇〇,〇〇〇円
		謝金	〇〇,〇〇〇円 ゲスト謝礼 @×〇人=〇〇,〇〇〇円
	小 計	△,△△△,△△△円	
	助 成 金 対 象 外 経 費	飲食費	〇〇〇,〇〇〇円 お茶 実行委員会 @×〇〇回×〇〇人=〇〇,〇〇〇円
		小 計	〇〇〇,〇〇〇円
総 額		〇,〇〇〇,〇〇〇円	

【記載例3】

受付番号	
------	--

第1号様式（第8条）

未来の環境活動担い手支援事業助成金交付申請書

令和 年 月 日

一般財団法人千葉県環境財団理事長 様

(団体の所在地) ○○市○○町○—○
(団体名) ○○○高等学校 生物科学部
(代表者氏名) 学校長 ○○ ○○ 印
(担当：生物科学部顧問 教諭 △△ △△)

令和○年度未来の環境活動担い手支援事業助成金を下記のとおり交付されるよう、未来の環境活動担い手支援事業助成金交付要綱第8条の規定により関係書類を添えて申請します。

記

- 1 助成金申請額 100,000 円
- 2 事業開始予定年月日 令和○年 4月 1日
- 3 事業完了予定年月日 令和○年 3月31日
- 4 助成事業名 「 ゲンジボタル生息環境保全活動担い手育成事業 」
- 5 活動場所 「 ○○高等学校内ビオトープ及び周辺地域 」
- 6 添付書類
 - (1) 助成事業計画書 (別紙1)
 - (2) 事業収支予算書 (別紙2)
 - (3) 団体に関する調書(その1～その3) (別紙3-1～3-3)
 - (4) 定款又は規約 (※ 学校の場合は不要)
 - (5) 活動場所に係る地図(2万5千分の1程度のもの)

助成事業計画書

事業名 (助成対象事業区分)	ゲンジボタル生育環境保全活動担い手育成事業 (該当する区分：環境保全、 <u>生物多様性保全</u> 、地球温暖化防止対策、省資源・リサイクル)			
1 事業目的 (現状の環境課題に対して、団体等が何を対象にどうしたいのか、事業の必要性等から簡潔に記述)	(目標の達成度を分かりやすく記載する。) 絶滅危惧種のゲンジボタルの保全を図るため、部活動の一環として、ホタルの生態・生息環境、個体減少の原因・保全の方法を探る過程で、高校生自らが将来の環境保全に対する手法・方策を見出す力を身に付けることを目的とする。			
2 事業内容 (具体的な事業の活動場所、活動内容、実施期間内のスケジュールを記載してください。)	活動場所 〇〇立〇〇〇高等学校内ピオトープ及び周辺地域(〇〇川支川上流谷津田)			
	活動内容 校内ピオトープの生息環境調査(水質調査等)及びホタル幼虫の生息調査を実施するとともに、かつてホタルが生息していた〇〇川支川上流谷津田の地権者等からの聞き取り調査を行う。調査の実施にあたっては、専門家、ホタル保全活動団体から調査手法等の指導を受け、学生自らが調査手法の改良、保全方法の立案等の検討を行い、環境保全の知識、行動力を習得する内容とする。 実施スケジュール 4月～3月 環境調査(校内ピオトープ、〇〇川支川上流谷津田水路通年調査) 4月～6月 校内ピオトープ整備、ゲンジボタル幼虫・カワニナの生育調査 5月～6月 専門家等を招き研修会開催 6月～8月 ゲンジボタル飛翔調査・取りまとめ 9月 校内文化祭において成果発表 10月～2月調査手法改良、保全方法の立案等の検討結果まとめ・事業評価			
3 実施体制 (事業の実施に当たっての協力体制をどのように構築するか記載してください。)	(専門家等との協力) 〇〇博物館の研究者、〇〇大学理学部〇〇研究室、自然観察指導員			
	(市町村等との連携) 〇〇市〇〇保全課水質係、自然保護課等			
	(住民等との連携) 〇〇川支川上流〇〇地区のホタル観察経験者			
4 普及啓発活動 (事業の周知方法、啓発等の内容を記載してください。)	(広報活動：どのような広報手段で事業の周知を行うか) 校内新聞、周辺地域自治会回覧板			
	(啓発活動：どのような啓発手段で事業の啓発を行うか) 校内文化祭での成果発表、学外研究発表会、周辺住民対象の自然観察会			
5 事業効果把握 (事業実施の効果について、どのような方法で評価するのか記載してください。)	(事業の効果把握：何を指標とするのか) 各部員の観察力、観察結果の取りまとめ・理解力、成果の発表力			
	(把握方法：どのような方法、手法を用いてその効果を評価するのか) 文化祭で発表内容・理解度・表現力を部外学生等の評価で効果把握する			
6 助成実績(◎)及び今後の申請予定(○)	前年度活動	今年度活動	申請年度	翌々年度活動
	◎	◎	○	○

※いずれも欄が不足する場合は、適宜別紙(A4)を添付してください。

事業収支予算書

令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日

区 分		予算額	内 訳
収入の部	助成金	〇〇〇,〇〇〇円	
	会費収入	〇〇,〇〇〇円	部活動費
	その他 (寄付等)		
	総 額	〇〇〇,〇〇〇円	
支出の部	助成対象経費	消耗品費	〇〇,〇〇〇円 下草刈用鎌 @×〇個=〇,〇〇〇円 スコップ @×〇個=〇,〇〇〇円 玉網 @×〇個=〇,〇〇〇円 資料用コピー用紙 @×〇冊=〇,〇〇〇円
		燃料費	〇,〇〇〇円 刈払機用混合燃料 @×〇缶=〇,〇〇〇円
		印刷製本費	〇,〇〇〇円 ホテル生育調査資料用コピー代 @×〇〇部=〇,〇〇〇円 ホテル飛翔調査資料コピー代 @×〇〇部=〇,〇〇〇円
		保険料	〇,〇〇〇円 ボランティア保険料 @×〇人=〇,〇〇〇円
		通信運搬費	〇,〇〇〇円 関係機関等への資料照会郵送代 @×〇箇所=〇,〇〇〇円 ゲンジボタル講師連絡用資料等郵送代 @×〇人=〇,〇〇〇円
		旅費	〇〇,〇〇〇円 ゲンジボタル専門家講師(東京~千葉) @×〇人=〇〇,〇〇〇円
		使用賃借料	〇〇,〇〇〇円 刈払機レンタル代 @円×〇台×〇回=〇〇,〇〇〇円
		謝金	〇〇,〇〇〇円 ゲンジボタル専門家講師謝礼 @×〇人=〇〇,〇〇〇円
	小 計	△△△,△△△円	
	助成対象外経費	飲食費	〇,〇〇〇円 お茶 飛翔調査専門家等 @×〇個×=〇,〇〇〇円
小 計		〇,〇〇〇円	
総 額		〇〇〇,〇〇〇円	

記載内容が多い場合は、「別紙のとおり」とし、内訳を記載し別紙を添付してもよい。

【記載例4】

第1号様式(1)

廃食油燃料利用促進プロジェクト事業参加申込書

令和 年 月 日

一般財団法人 千葉県環境財団 理事長 様

住 所 ○○市○○町○—○

氏 名 ○○市○○自治会

会長 ○○ ○○ 印

電話番号 ○○○—○○○—○○○○

〔 法人その他の団体にあつては、事務所又は
事業所の所在地、名称及び代表者の氏名 〕

令和○年度 廃食油燃料利用促進プロジェクト事業に参加したいので、下記のとおり申し込み
ます。

記

1 参加者に関する事項

参加部門	① 廃食油回収団体 ② 廃食油収集体体 (該当番号に○印)
参加団体名	○○市○○自治会
代表者	住所 ○○市○○町○—○ 氏名 会長 ○○ ○○ TEL ○○○—○○○—○○○○ / FAX TELに同じ E-mail △△△@△△.△△. j p
事務担当者 (代表者とは別に事務 担当者を置く場合 に記入)	住所 ○○市○○町○—△ 氏名 事業部長 △△ △△ TEL ○○○—○○○—△△○○ / FAX TELに同じ E-mail △△△@△△.○○. j p
設立目的	自治会の親睦, 防災・・・・・・・・
主な活動内容	防災活動, 廃品回収活動, 親睦旅行会開催・・・・・・・・等
設立年月日	昭和○○年 ○月○○日
会員数	○○○名 (△△世帯)

注)代表者以降は、団体のみ記入してください。

2 活動に関する事項

(1) 廃食油回収団体

(家庭から出る廃食油回収を初めて開始する団体の例)

これまでの 廃食油回収取組	① 新規団体	2 既に回収を実施している団体
回収活動 開始予定等	RO 年 5 月予定	既設回収 年 月頃開始
		増設地点 年 月予定
回収地点数	5 地点を予定	既設回収地点 地点
		増設予定地点 地点を予定
回収後の用途	バイオマス燃料に利用してもらいたい	石ケン作り、燃料利用、その他
当財団ホームページ への廃食油回収団 体情報掲載の諾否	① 諾 2 否	1 諾 2 否
当該年度以降の 回収活動の継続 の意向	① 継続する 2 継続しない(当該年度のみ)	1 継続する 2 継続しない(当該年度のみ)

(2) 廃食油収集団体

これまでの 廃食油収集取組	1 新規団体	2 既に収集実績がある団体
収集活動 開始予定等	年 月予定	年 月頃から開始
収集範囲		
収集後の用途	1 A 重油代替燃料用 2 軽油代替燃料(BDF)用 3 自己利用	1 A 重油代替燃料用 2 軽油代替燃料(BDF)用 3 自己利用
当財団ホームページ への廃食油収集団 体情報掲載の諾否	1 諾 2 否	1 諾 2 否
当該年度以降の 収集活動の継続 の意向	1 継続する 2 継続しない(当該年度のみ)	1 継続する 2 継続しない(当該年度のみ)

【記載例5】

第1号様式(2)

廃食油燃料利用促進プロジェクト事業助成金申込書

令和 年 月 日

一般財団法人 千葉県環境財団 理事長 様

住 所 〇〇市〇〇町〇—〇

氏 名 〇〇市〇〇自治会

会長 〇〇 〇〇 印

電話番号 〇〇〇—〇〇〇—〇〇〇〇

〔法人その他の団体にあつては、事務所又は
事業所の所在地、名称及び代表者の氏名〕

令和〇 年度 廃食油燃料利用促進プロジェクト事業に参加(継続参加)したいので、下記のとおり廃食油回収拠点整備に係る助成金を申し込みます。

記

助成金申請額	51,000円
--------	---------

事業収支予算書

令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日

区 分		予算額	内 訳	
収入の部	会費等収入		0	会費は本事業には充当しない
	助成金	ちば環境再生基金	51,000	
		他の助成金	0	
	収入合計		51,000	
支出の部 (助成対象経費)	消耗品費	廃食油回収箱	40,000	廃食油回収ボックス 8,000円×5個
		ビニールシート	2,000	油漏れ防止用ボックス内シート 100枚入り(厚手)
	印刷費	チラシ等印刷	4,000	チラシのコピー代 年4回×100枚×10円/枚
		野外用チラシ加工	3,000	野外防水用チラシ加工 5か所×2枚×200円/枚
	会議費	会場使用料	2,000	
	小 計		51,000	
	支出合計		51,000	

【記載例6】

第5号様式（第18条）

県民の環境活動支援事業助成金実績報告書

令和〇年 4月 日

一般財団法人千葉県環境財団理事長 様

(団体の所在地) 〇〇市〇〇町〇—〇

(団体名) 〇〇〇〇を守る会

(代表者氏名) 代表 〇〇 〇〇 印

令和 〇年 4月 1日付け千環財第 1 号の 1 で交付決定のあった令和 〇年度 県民の環境活動支援事業助成金の助成事業を完了したので、県民の環境活動支援事業助成金交付要綱第18条の規定により、下記のとおり報告します。

記

1 助成金交付決定額	150,000	円
2 実績額	185,500	円
	(↑② 助成対象経費の合計です。)	
3 事業完了年月日	令和 〇年 3月 31日	

4 添付書類

- (1) 助成事業成果報告書 (別紙1)
- (2) 収支決算書 (別紙2)
- (3) 助成事業自己評価書 (別紙3)
- (4) 領収書の写し等支出を証明する書類 (助成対象経費に係るもの)

(領収書の写し等は収支決算書の記載順にA4サイズ用の紙に貼付してください。1枚の用紙に複数の領収書等を貼付しても構いませんが、それぞれの領収書の写し等が重ならないようにしてください。機材運搬車両の燃料費は、領収書の欄外に走行距離、燃費(1リットルあたりのおよその走行距離)、燃料使用量(走行距離/燃費)、燃料費(燃料単価×燃料使用量)を記載してください。)

(5) その他助成事業に関する資料

(活動状況がわかる写真を4、5枚程度添付してください。電子ファイルをメールで送っていただいても結構です。)

助成事業成果報告書

1 事業目的	<p>〇〇湾の干潟は埋立てや護岸工事により大きく消失し、後背地にヨシ群落を持つ自然干潟はわずかとなっている。干潟の消失は干潟に生息する生物の消滅を意味するものであり、生物多様性の観点からも現存干潟の保全は喫緊の課題である。</p> <p>ごみ回収や雑草刈りなどの保全活動、毎年春の干潟生物調査、年間を通じて行う自然観察会などの普及啓発活動の3つを継続的に実施することにより、干潟の生態的な役割と保全の必要性を訴え、干潟保全の意識高揚を図る取り組みである。</p>
2 事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 保全活動（投棄ゴミ問題） 年間を通じて投棄ゴミと漂着ゴミの回収を実施した。併せて道沿いの雑草刈りとヨシの管理により投棄抑制を進めている。 2 干潟生物調査（5～6月の大潮の日） 一般市民参加の生物調査を実施した。高校・大学などの専門研究者の協力で調査方法や生き物の同定についても円滑に行っている。 3 普及啓発活動（自然観察会） 干潟保全の普及啓発を図るため、学校児童や市民などを対象とした自然観察会を実施
3 事業成果	<p>（※できるだけ具体的に記載する。）</p> <p>干潟観察会とゴミ回収活動は同日（午前・午後）に行っており、多数の参加を得ている。</p> <p>4月：19人90kg 5月：30人生き物調査 6月：25人150kg 11月：15人300kg 2月：10人20kg 雑草刈り</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ゴミ問題 長年放置された投棄ゴミや漁網などが片付き美化が進んでいる。幅広い市民に呼びかけ長期的に取り組んでいく。 2 干潟生物調査 専門研究者の解説付き調査でリピーターも増えている。毎年同時期調査であり、経年変化が把握できて貴重な資料となっている。 連携の研究者や学校などへ提供している。 3 自然観察会 観察会を通じて初めて干潟へ入る人もおり、観察会をきっかけにゴミ回収や干潟調査に参加するという循環が生まれている。

※いずれも欄が不足する場合は、適宜別紙（A4）を添付してください。

収 支 決 算 書

令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日

	区 分	決 算 額	内 訳	
収入の部	助成金	〇〇〇,〇〇〇円	ちば環境再生基金から	
	会費収入	〇〇,〇〇〇円	年会費@円×〇人	
	その他 (寄付等)	寄付金	〇,〇〇〇円	
	総 額	〇〇〇,〇〇〇円		
支出の部	助成対象経費	消耗品費	〇〇,〇〇〇円	消耗品費明細の通り
		燃料費	〇,〇〇〇円	燃料費明細の通り
		印刷製本費	〇,〇〇〇円	印刷製本費明細の通り
		保険料	〇,〇〇〇円	保険料明細の通り
		通信運搬費	〇,〇〇〇円	通信運搬費明細の通り
		旅費	〇〇,〇〇〇円	旅費明細の通り
		使用賃借料	〇〇,〇〇〇円	使用賃借料明細の通り
		謝金	〇〇,〇〇〇円	謝金明細の通り
		小 計	△△△,△△△円	
	助成対象外経費	飲食費	〇〇,〇〇〇円	茶菓子 講習会・研修会講師用 @×〇人=〇,〇〇〇円 お茶 講習会・研修会参加者用等 @×〇個×〇回=〇,〇〇〇円
		小 計	〇〇,〇〇〇円	
総 額		〇〇〇,〇〇〇円		

記載内容が多い場合は、「別紙のとおり」とし、内訳を記載し別紙を添付してもよい。

助成事業自己評価書

(当該年度の活動の成果等から、今後の活動の方向性・改善点等も含め記載する。)

ア 千葉県環境再生に貢献できたか	番洲の鼻などわずかに残った干潟は、多様な動植物の生息・生育の場として生物多様性の確保に寄与するとともに食糧供給・気候調節・水質浄化など私たちの生存の基盤としての役割を担っており、保全の流れを作る取り組みであった。
イ 一般県民の参加、支援が得られる活動となるように事業の周知ができたか	地元住民・研究参加者・学校・漁協など様々な主体が連携しており、各々の広報媒体による周知活動もスムーズに行うことができた。 市民参加を募った生物調査や自然観察会には初心者を含め多数の参加を得た。
ウ 専門家、地元市町村、住民等の協力が得られたか	干潟の生物調査では生息場所や潮の干満など専門知識が必要であるが、連携する研究者などの協力を得た。調査で得られたデータは年間を通じて実施する自然観察会で活用するほか、学校、行政などに情報提供した。
エ 事業計画は実現可能な方法、手段であったか	事業の実施にあたっては、役割分担などを事前に相談し、下見や準備で改善を心掛けている。また連携する団体等と情報交換を密にして実現可能な計画としている。
オ 収支計画は、妥当であったか	事業の実施上、無理のない計画であった。
カ 事業目的(目標)に対する達成度はどうだったか	主な活動であるゴミ回収・生物調査・観察会は概ね良好と感じている。さらに情報共有を図り、息の長い活動とする。
キ 活動成果を今後の活動(事業の継続や発展など)にどのように活用していくのか	自然観察会をきっかけにゴミ回収活動や生物調査に参加する方もあり、干潟観察や保全に一定の知識やスキルを持ったリーダー育成のための研修会を企画していく。

【記載例7】

第5号様式（第17条）

未来の環境活動担い手支援事業助成金実績報告書

令和 ○年 4月 日

一般財団法人千葉県環境財団理事長 様

(団体の所在地) ○○市○○町○ー○
(団体名) ○○高等学校 生物科学部
(代表者氏名) 学校長 ○○○○ 印
(生物科学部顧問 教諭 ○○○○)

令和 ○年 4月 1日付け千環財第 ○ 号の ○で交付決定のあった令和 ○年度未来の環境活動担い手支援事業助成金の助成事業を完了したので、未来の環境活動担い手支援事業助成金交付要綱第17条の規定により、下記のとおり報告します。

記

- | | |
|------------|--------------------------------|
| 1 助成金交付決定額 | 100,000 円 |
| 2 実績額 | 120,000 円
(↑④ 助成対象経費の合計です。) |
| 3 事業完了年月日 | 令和 ○年 3月 31日 |

4 添付書類

- (1) 助成事業成果報告書 (別紙1)
- (2) 収支決算書 (別紙2)
- (3) 助成事業自己評価書 (別紙3)
- (4) 領収書の写し等支出を証明する書類 (助成対象経費に係るもの)

(領収書の写し等は収支決算書の記載順にA4サイズ用の紙に貼付してください。1枚の用紙に複数の領収書等を貼付しても構いませんが、それぞれの領収書の写し等が重ならないようにしてください。機材運搬車両の燃料費は、領収書の欄外に走行距離、燃費(1リットルあたりのおよその走行距離)、燃料使用量(走行距離/燃費)、燃料費(燃料単価×燃料使用量)を記載してください。)

(5) その他助成事業に関する資料

(活動状況がわかる写真を4、5枚程度添付してください。電子ファイルをメールで送っていただいても結構です。)

助成事業成果報告書

1 事業目的	部活動の一環として、絶滅危惧種のゲンジボタルの保全を図るための活動を行う。ホタルの生態・生息環境を調査し、個体減少の原因・保全の方法を探る過程で、高校生自らが将来にわたって環境保全に取り組んでいけるように、手法・方策を見出す力を身に付けることを目的とする。
2 事業内容	<p>活動場所：〇〇高等学校中庭ビオトープ 〇〇川支川上流谷津田</p> <p>活動内容：学校内ビオトープの管理、ビオトープ内の生息環境調査（水質調査等）及びホタル幼虫の生息調査を実施する。</p> <p>かつてホタルが多数生息していた〇〇川支川上流谷津田の地権者等からの聞き取り調査を行う。</p> <p>調査結果のまとめ、保全方法の立案等の検討を行い、成果を発表する。</p>
3 事業成果	<p><学校内ビオトープの管理> 年間を通して実施し、生息環境の保全を図った。</p> <p><ビオトープ内の水質調査及びホタル幼虫の生息調査> 〇〇大学の〇〇先生に指導を仰ぎ、水質調査を〇回、ホタル幼虫の生息調査を〇回実施した。</p> <p><谷津田の地権者からの聞き取り調査> 〇月に地元町会役員を通じて紹介いただいた方〇名にヒアリングを行い、その結果をまとめた。</p> <p><保全活動団体への調査> 県内でゲンジボタルの保全活動を継続実施している団体である「〇〇〇〇の会」の関係者に聞き取り調査を行った。</p> <p><成果発表></p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇月〇〇日 〇〇高校文化祭 ・〇月〇〇日 〇〇大学 高校生研究論文コンテスト ・〇月〇〇日 高等学校文化連盟理科研究発表会 ・〇月〇〇日 「〇〇市 地域づくり祭り」に参加・展示発表

※いずれも欄が不足する場合は、適宜別紙（A4）を添付してください。

収 支 決 算 書

区 分		決算額	内 訳
収 入 の 部	助成金 会費収入 その他	100,000円 50,000円	生徒会予算
	総 額	150,000円	
支 出 の 部	助成金 対 象 経 費	消耗品費	00,000円 別紙 消耗品費明細のとおり
		印刷製本費	0,000円 研究論文コンテスト応募用
		旅費	00,000円 ゲンジポータル専門家講師(東京~千葉) @×0人=00,000円
		小 計	120,000円
	助成金 対 象 外 経 費	備品購入	00,000円 パソコンソフト
		飲食費	0,000円 お茶 地権者聞き取り調査時 @×0個×=0,000円
		小 計	30,000円
		総 額	150,000円

記載内容が多い場合は、「別紙のとおり」とし、内訳を記載し別紙を添付してもよい。

助成事業自己評価書

(当該年度の活動の成果等から、今後の活動の方向性・改善点等も含め記載する。)

ア 千葉県環境再生に貢献できたか	生徒自身による調査研究を通して、身近な自然の豊かさと保全の重要性・難しさを肌で感じることができ、それにどう関わり、寄与していくことができるかを考えさせることができた。
イ 一般県民の参加、支援が得られる活動となるように事業の周知ができたか	地元町会や地権者の方々、ゲンジボタル保全活動を行っている「〇〇〇の会」の方々にご協力いただくことができた。 活動の周知については、文化祭等での発表や高校のホームページへの部活動掲載を行った。また、「〇〇市 地域づくり祭り」で展示発表した。
ウ 専門家、地元市町村、住民等の協力が得られたか	〇〇大学の〇〇先生にご指導を仰いだほか、地元町会や地権者の方々、ゲンジボタル保全活動を行っている「〇〇〇〇の会」の方々にご協力いただいた。
エ 事業計画は実現可能な方法、手段であったか	事前の安全確認、関係者との連絡調整に十分留意して実施した。計画はほぼ予定通り、無理なく実施できた。
オ 収支計画は、妥当であったか	収支についても、事業の実施上無理のない計画であった。
カ 事業目的（目標）に対する達成度はどうだったか	生徒たちは率先して活動した。また、成果をまとめ、各方面に発表することができた。この経験は、今後の糧になるものと考えられる。
キ 活動成果を今後の活動（事業の継続や発展など）にどのように活用していくのか	今後も調査活動を続け、地元町会や地権者の方々にも成果を提供し、関心を持ってもらうようにしたい。また、いずれは他の希少種に関しても、調査研究を広げていきたい。

【記載例8】

第5号様式

廃食油燃料利用促進プロジェクト事業活動実績報告書

令和 年 月 日

一般財団法人 千葉県環境財団 理事長 様

(団体の所在地)〇〇市〇〇〇町〇-〇

(団体名)〇〇市〇〇自治会

(代表者氏名)〇〇 〇〇 印

令和〇〇年〇〇月〇〇日付け千環財第〇〇〇号の〇〇〇で交付決定のあった令和〇〇年度廃食油燃料利用促進プロジェクト事業助成金の助成事業を完了したので、廃食油燃料利用促進プロジェクト事業実施・助成要綱6—(11)の規定により、下記のとおり報告します。

記

1 助成金交付決定額 〇〇〇〇〇 円

2 助成対象経費の実績額 △△△△△ 円

3 事業完了年月日 令和〇〇年3月31日

4 添付書類

(1)活動報告書(別紙1)

(2)事業収支決算書(別紙2)

(3)領収書の写し等支出を証明する書類(助成対象経費に係るもの)

(領収書の写し等は収支決算書の記載順にA4サイズ of 用紙に貼付してください。1枚 of 用紙に複数の領収書等を貼付しても構いませんが、それぞれの領収書の写し等が重ならないようにしてください。)

(別紙1)

廃食油燃料利用促進プロジェクト事業活動報告書
(廃食油回収団体)

参加団体名	〇〇市〇〇自治会
報告年度	令和 年度事業報告

1 廃食油回収拠点等整備

	設置場所(所在地)	回収箱	のぼり旗	
回収箱 設置箇所	〇〇自治会集会場 (〇〇市〇〇町〇—〇)	2個	2本	
	〇〇自治会第1公園脇 (〇〇市〇〇町〇—〇)	1個	1本	
	〇〇自治会第2公園脇 (〇〇市〇〇町〇—〇)	1個	1本	
	〇〇自治会第3公園脇 (〇〇市〇〇町〇—〇)	1個	1本	
			個	本
			個	本
			個	本
			個	本
		合 計	5個	5本

2 廃食油回収量(収集体体への引き渡し量)

回収期間	廃食油回収量(リットル)	収集体体名(引き渡し団体)
4月～3月	〇〇〇	NPO〇〇〇〇〇〇
5月～3月	〇〇〇	//
9月～3月	〇〇	//
9月～3月	〇〇	//
合計	〇〇〇〇	

(注)廃食油回収量は、当該年度の合計量を記入してください。

(別紙2)

事業収支決算書

令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日

収入の収部		区分	決算額	内 訳
		会費等収入		
助成金		ちば環境再生基金		
		他の助成金		
		収入合計		
支出の部(助成対象経費)		消耗品費	廃食油回収箱	
		印刷費	チラシ等印刷	
		会議費	会場使用料	
		支出合計		

【助成金についての問い合わせ・相談先】

一般財団法人 千葉県環境財団

業務部 環境活動支援課

電話 043-246-2091

FAX 043-247-4152

e-mail saiseikikin@ckz.jp

<https://www.ckz.jp/saisei/index.html>